

(瀧羽麻子「トマトの約束」による。一部改訂がある。)

一 a s d のカタカナを漢字に直して書け。

二 ①に 毎日のようにふたりで遊んだ とあるが、このとき夏実から見ると隼人はどのような姿勢で自然と接していたか。「姿勢」に続く形で、本文中から三十六字で探して、初めと終わりの三字を書きぬけ。ただし、句読点も一字に数える。

三 にあてはまる行動を、本文中から探して書きぬけ。

四 ②に 板についている とあるが、ここではどのような意味で使われているか。次の1～4から最も適当なものを一つ選び、番号を書け。

- 1 いやみに感じられる
- 2 とても目立っている
- 3 ぴったり合っている
- 4 周囲より優れている

五 ③に 得意そうな口ぶりだった とあるが、隼人がほこらしく感じていることは何か。十五字以上二十字以内で書け。

六 ④に すぐには答えられなかった とあるが、それはなぜか。「将来の夢」という語を用いて、二十五字以上三十字以内で書け。

七 本文を読み、隼人はどのような人物だと考えられるか。次の1～4から最も適当なものを一つ選び、番号を書け。

- 1 虫や草花が好きで、だれとでもすぐに打ち解けて話ができる社交的な人物
- 2 几帳面すぎるところはあるが、困っている人を気づかう優しさをもつ人物
- 3 様々なことに興味をもっており、自分のペースを一番大切にしている人物
- 4 おとなしい性格であるが、自分の考えをしっかりと持っている芯の強い人物